

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第703号（九月号）表紙

- ・秋の季語：「菊」（三秋・植物）
- ・来月号（十月号）の兼題は「菊」です。



- ・春の桜と並び称される我が国の代表的な花で多くの種類がある。大菊、中菊、小菊、嵯峨菊、伊勢菊、肥後菊、丁子菊、美濃菊等々。盛んに栽培されるようになったのは、江戸時代以降で栽培変種は数千に達し、ますます進歩、変化中です。

< 季語「菊」を含んだ有名俳人の句（8句） >

- ・菊の香やならには古き仏達／松尾芭蕉
- ・懸崖に菊見るといふ遠さあり／後藤夜半
- ・わがいのち菊にむかひてしづかなる／水原秋櫻子
- ・菊日和名馬の訃報一面に／松井洋子
- ・あるほどの菊投げ入れよ棺の中／夏目漱石
- ・たそがれてなまめく菊のけはひかな／宮沢賢治
- ・我のみの菊日和とはゆめ思はじ／高浜虚子
- ・手を繋ぐ卒寿の夫婦菊日和／福島松子

☆前月出句の中の高得点句（5点以上）

・702号に出句された15名の105句のなかから互選で5点以上獲得した句4句です。

- ・摩文仁の丘碑に名を探す夏帽子／穂心
- ・水打って祇園の生計始まりぬ／恵吾
- ・悲喜すべてうすれゆく歳虹の橋／緑丁
- ・釣り忍水鉄砲の射程距離／甲舟

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の17名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、71名（高商32人、高商教授1人、大学38人）

<編集者・コンタクト先&会費、他>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）
メルアド：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
山下 勝（大学14期）
メルアド：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
平林 義康（大学20期）
メルアド：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万円

以上